

宇都宮大学における女性大学院生の学修研究環境整備のための意識調査

I. はじめにあなたの所属についてうかがいます。

Q1. あなたが所属する研究科の番号ひとつに○を付けてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 国際学研究科 | 2. 教育学研究科 |
| 3. 工学研究科 | 4. 農学研究科・連合農学研究科 |
| 5. 附属研究センター | 6. その他 () |

Q2. あなたが所属している課程と学年の番号ひとつずつに○を付けてください。

- | | | | | |
|-------|------------------|------------------|--------|----------|
| a. 課程 | 1. 修士課程 (博士前期課程) | 2. 博士課程 (博士後期課程) | | |
| b. 学年 | 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 | 4. 4年生以上 |

II. 大学院への志望動機と学習研究環境についておうかがいします。

Q3. 現在、あなたが所属する研究科に進学した理由は何ですか？あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 将来、研究職に就くことを希望している
2. いま学んでいる分野の研究が好きだから
3. 学部・院生の時の就職がうまくいかなかったから
4. よい仕事をするために必要なスキルを習得するため
5. 修士や博士の学位、資格を取得するため
6. 企業・団体から派遣されたため
7. その他 ()

Q4. あなたの学修研究環境において、改善を要する問題がありますか？あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 研究スペースが狭い (研究室、机、本棚、ロッカーなど)
2. 研究設備、実験器具が不十分
3. 図書館や付属施設、他専攻などの学内施設が使いにくい
4. PC、ネット環境の未整備
5. 必要な資料、書籍が学内にない
6. 指導教員から研究指導を十分に受けられない
7. 周りにお手本となる先輩、教員がいない
8. 研究科や専攻内の研究交流がない
9. TA、RAなどのサポート対策が不十分
10. その他 ()
11. とくに改善すべき点はない

Q14. 自分のキャリアをイメージするときロールモデルとなる女性研究者の情報が十分にありますか？あてはまる番号ひとつに○を付けてください。

1. 自分の思い描く女性研究者の情報は十分にある
2. 専門分野が違ってはいるが、自分の思い描く女性研究者の情報はある
3. 女性研究者の情報が無い
4. とくに女性研究者の情報を必要としていない

IV. 男女共同参画についておうかがいします。

Q15. 宇都宮大学における下記の取り組みを知っていますか？知っている取り組みの番号すべてに○を付けてください。

1. 学長による「男女共同参画宣言」の発信（平成 23 年）
2. 女性教員を増加させるためのアクションプランの制定（平成 23 年）
3. 職員 Web サイトでの男女共同参画に関する学内制度等情報の掲載（平成 23 年）
4. 学内に「男女共同参画推進室」を設置（平成 24 年）
5. 学内に「女性研究者キャリア支援室」を開設（平成 25 年）
6. 宇都宮大学まなびの森保育園の設置（平成 18 年）
7. 女性研究者を対象としたワーク・ライフ・バランス相談窓口の設置（平成 25 年）
8. 女性カフェ（fe-le café）の定期的な開催（平成 26 年）

Q16. 2013 年度の国立大学協会発表の女性教員比率ランキングで、宇都宮大学は 86 国立大学中 41 位でした。下記に示した宇都宮大学で女性教員が少ないそれぞれの理由について、あなたの考えに近い番号ひとつに○を付けてください。

（そう思う-5 まあそう思う-4 わからない-3 あまりそう思わない-2 そう思わない-1）

- | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a. 社会的な偏見があるから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| b. 男女間には能力の差があるから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| c. 幼少期から男女で違った育てられ方をするから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| d. 女子に高学歴を期待しない親が多いから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| e. 中学や高校での進路指導が適切ではないから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| f. お手本になるような女性研究者が少ないから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| g. 男性が多い職場だから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| h. 労働時間が長い職場だから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| i. 男性を採用する傾向が強いから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| j. 仕事と家庭の両立が困難だから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| k. 育児休業後の復帰が困難だから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| l. 研究に興味を持つ女性が少ないから | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

Q17. あなたが所属する研究科・専攻内において、性別による処遇の違い（女性であるために不利益になること）があると感じますか？あてはまる番号ひとつに○を付けてください

1. あると感じる
2. ないと思う
3. わからない

Q17-1. Q17で「1.あると感じる」と答えた方にお伺いします。どのような処遇の違いを感じますか？あてはまる番号すべてに○を付けてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 就職のあっせん | 2. 教員による就職指導 |
| 3. 教員による研究指導 | 4. TA、RAなどの任命 |
| 5. 学会発表などのチャンス | 6. 研究費の配分、補助 |
| 7. その他（ | ） |

Q18. あなたが所属する研究科・専攻内において、これまで女性院生に対するセクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメントなどを感じたり、見たことがありますか？あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 自分が体験したことがある
2. 自分ではないが、他の女性院生が体験しているのを見たことがある
3. とくにない

Q18-1. Q18で「1、2に○」を付けた方にお伺いします。それはどのようなハラスメントでしたか？可能な範囲でお書きください。

